

CA ERwin[®]を使用して AmeriCreditが主要な情報資産を データウェアハウスに集約



顧客のプロフィール

組織: AmeriCredit Corp.
業界: 金融サービス
従業員数: 約3,000(アメリカ
およびカナダ)

概要

ビジネス:

AmeriCredit Corp.は、業界でも有数の独立系の自動車金融企業であり、米国全土にわたる自動車ディーラーを通じて金融ソリューションを提供しています。同社の顧客は約90万人で、約100億ドルの自動車ローン債権を保有しています。1992年に創設され、本社はテキサス州フォートワースにあります。

課題:

全国にある約5,000のトップディーラーをサポートするため、AmeriCreditはデータウェアハウスを作成して、クレジット、支払い、申請、および回収に関するビジネス情報の集約に取り組みました。このデータウェアハウスは、クレジット情報についての唯一の正しい情報源となり、業務の効率を高め、法令を順守するために重要な役割を果たします。

ソリューション:

CA ERwinが備えるデータモデリング、モデル管理、およびレポート作成の機能を活用して、AmeriCreditは重要なビジネス定義を1つのソースに統合しました。ビジネスユーザーと技術系ユーザーは、標準化されたメタデータを共有できるようになりました。

成果:

情報の統合ソースを構築したことによって、データの品質が高まり、開発時間が短縮されました。また、チームに新しいメンバーが参加する際に、必要な知識を効率的に伝えることができるようになりました。

ビジネス

情報ベースの技術を活用して戦略的に優位に立つ

AmeriCreditは、独自のクレジットスコアシステムを使用して200を超えるファクターを検討し、クレジットリスクを予測しています。同社は、業務上の意思決定に不可欠な情報を得るため、システム開発の初期に多額の投資を行いました。情報ベースの技術と革新的なリスク管理手法を効果的に組み合わせることで、クレジットリスクに対し、より正確な査定と値付けが可能になりました。

このような独自のリスク管理手法に加えて、顧客であるディーラーと消費者にすぐれたサービスを提供することで、AmeriCreditは他社との差別化を実現しています。自社の支店網やカスタマーサービス組織における徹底したマーケティング戦略を通じて、革新的な取り組みやソリューションに必要な技術を投入し続けており、業務の柔軟性を確保し、ローンの価格設定や条件を競争力のあるものに行っています。

AmeriCreditは、独自のビジネスモデルによって、市場の変化に迅速に対応し、チーム主体で活動する仕組みを確立して、ディーラーと消費者にすぐれた顧客サービスを提供しています。同社の業務では情報がもっとも重要であるため、すべての社員が迅速に正しい意思決定を下せるように、一元管理され、一貫性のあるデータに容易にアクセスできる環境が不可欠です。

課題

ソースを統合して情報の精度を高める

AmeriCreditの重要な資産であるクレジット、支払い、および回収などの情報を一か所にまとめるために、データアーキテクチャのチームはデータウェアハウスを作成して、分散していた各種データソースを、レポート作成を目的とした単一の情報ソースに集約しました。AmeriCreditのデータアーキテクトであるNikitas GogosとAiman Gurjilによれば、この統合作業でいくつかの課題に直面しました。

最初の課題は、技術的な統合です。データウェアハウスはOracleで標準化されているのに対し、ソースシステムはSQL Serverを始めとするさまざまなデータベースプラットフォームで運用されていました。プラットフォームの移行、データ型やフォーマットの変換に加え、移行先のデータウェアハウスでは、すべてのデータの一貫性を保つ必要がありました。数百ものデータベーステーブルが存在する状況では、これは簡単な作業ではありませんでした。

もう一つの課題は、組織レベルでの統合と情報共有です。各データ要素の定義やコード値のようなメタデータは、組織レベルで文書化し、標準化する必要がありました。さらに、ビジネスインテリジェンスアナリストやデータベース管理者(DBA)、データアーキテクトに至るまで、さまざまなチームが、これらの情報にアクセスできるようにする必要がありました。組織全体に情報を公開して、情報の一貫性を保つことが、このプロジェクトを成功に導くための鍵でした。

ソリューション

情報の集約

AmeriCreditは、CA ERwin Data Modelerを使用して、視覚的なデータモデルによる情報の統合ビューを作成することができました。また、ERwinのリバースエンジニアリング機能により、データウェアハウスのソース/ターゲットのデータ一覧を作成して、すべての情報を包括的に確認できるようになりました。これらのモデルは、情報の中央リポジトリであるCA ERwin Model Managerに保存され、この中央ストレージポイントを利用して、情報をより簡単に共有、標準化、および再利用できるようになりました。

**「一番の利点は、
メタデータを文書化して
エンドユーザーに
公開できたことです」**

Nikitas Gogos
データアーキテクト
AmeriCredit Corp.

データの一覧が作成されると、定義やコード値など、その他のビジネス情報が追加されました。CA ERwinの設計層を使用して、ビジネス情報は論理データモデルに保存され、技術的な詳細は物理データモデルに保存されました。また、ERwinのストアドディスプレイ機能によって、情報を閲覧するユーザーの種別ごとに情報をフィルタリングすることができました。たとえば、マネージャーはエンティティレベルの情報のみを確認し、技術スタッフはデータ型や主キー/外部キーのような詳細情報まで確認できます。さらに、サブジェクトエリア機能を使用して、モデルが複数の領域（たとえば、申請、アカウントサービス、資金調達など）にグループ化されました。これによって、公開する情報の範囲を管理することができます。

情報を公開する

作成された情報ストアは、さまざまなチームで共有できるようにすることが重要です。300人を超えるデータウェアハウス(DW)チームと、この情報からCognosレポートを作成するビジネスインテリジェンス(BI)アナリストのために、直感的に操作できる使いやすい情報公開システムを開発する必要がありました。チームはCA ERwinのレポートビルダ機能を使用して、Webに公開できるHTMLレポートを作成しました。これによって、DWおよびBIチームのメンバーは、ビジネス定義、コード値、カラムの詳細、および他の重要な情報に簡単にアクセスできるようになりました。

成果

信頼性の高い情報への迅速なアクセス

一貫性のある情報に簡単にアクセスできるようになったことで、各ユーザーはWebベースのレポートを通じて業務に必要な情報を取得できるようになり、AmeriCreditは時間とコストを削減することができました。「一番の利点は、メタデータを文書化してエンドユーザーに公開できたことです」とGogosは説明します。情報が検索しやすい形で公開されたことで、データアーキテクトは、オンラインレポートで簡単に答えが得られるような問題に煩わされることがなくなり、本来の業務に集中できるようになりました。代わりに専門的な質問が寄せられるようになり、チームメンバーと生産的な議論を交わせるようになりました。プロジェクトの情報が一元管理されたことで、社員のトレーニングも効率化されました。モデルやレポートを活用した分かりやすい情報が提供され、新しいチームメンバーは、短時間で実作業に参加できるようになりました。

AmeriCreditは今回の成果に非常に満足しています。この成功は、CA ERwinのデータモデリングおよびレポート作成機能と、Sandhill Consultantsによるトレーニングによって実現しました。Sandhill Consultantsの営業部門の責任者であるRobert Luttonは、業務効率の改善を求めるAmeriCreditのようなクライアントは少なくないと指摘しています。AmeriCreditはSandhill Consultantsと協力して、ビジネスとITの価値を高め、AmeriCredit、Sandhill Consultants、およびCAの3社にとって満足のいく結果をもたらしました。AmeriCreditは、直感的に操作できるレポートやモデルを通じてチームの作業効率を高め、データウェアハウスとビジネスインテリジェンス環境を構築するまでの開発期間を短縮することができました。

CA ERwin製品を導入することでお客様が得られる詳しい利点については、ERwin.comをご覧ください。

